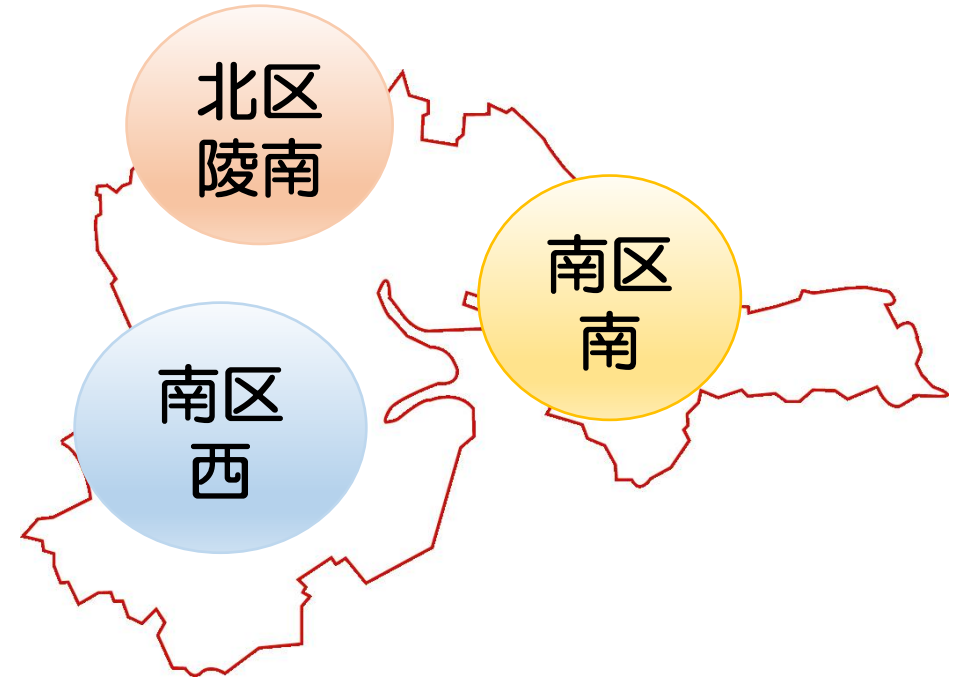


令和6年度 南西地域部会 活動報告



社会福祉法人浦安荘
支援センター・コンドル
主任相談支援専門員 前田 茂男

R7.6.26(木)

岡山市障害者自立支援協議会 全体会

令和6年度 部会運営について

① コア会議 …… 相談支援機能強化（3事業所）

支援センターコンドル・ひらた地域活動支援センター・岡山南障がい者相談支援センター

○開催：2回/年 <部会の年度計画に関する協議>

② 運営会議 …… 相談支援機能強化事業所＋岡山市児童発達支援センター ＋特定相談支援事業所

5事業所：8名（主任相談支援専門員6名含む）

○開催：1回/月(第2金曜日) ＊定例会後開催：12回/年

南西エリア相談支援体制強化と継続した人材育成を担保

- ・事業所レビュー、ケースレビュー及びGSVの点検評価
- ・地域課題の抽出ツールの点検評価
- ・相談支援の質の向上につながる研修会の企画

南西地域部会の開催頻度と事業所数

○開催：毎月（第2・第4金曜日）合計24回開催

4/12、4/26、5/10、5/24、6/14、6/28、7/12、7/26、8/9、8/23、9/13、9/27、10/11、
10/25、11/8、11/22、12/6、12/20、1/10、1/24、2/14、2/28、3/14、3/28

＊日中サービス支援型GH3事業所の評価、部会研修会1回含む

○参加事業所：岡山市障害者基幹相談支援センター

相談支援機能強化事業所 3ヶ所

南西エリア相談支援事業所 19ヶ所

（＊北区・中区含む）

早島町 2ヶ所

玉野市 2ヶ所

計 26事業所

○場所：岡山市灘崎文化センター

令和6年度活動報告（土台となる取り組み）

①事業所レビュー・ケースレビューを基盤した地域課題の抽出：11回/年

GWで相談支援業務を振り返る。日常の疑問、困りごと、支給決定に関する要望、その他必要な情報や知識を共有。相談支援専門員の気づきの中から「問題」と「課題」の違いを意識（問題認識・現状分析・課題の明確化等）した地域課題の抽出。



（事業所レビュー：point）

4～5名のグループに機能強化事業所（主任相談支援専門員）等がFTとして進行を担い、事業所レビュー書式及び課題抽出様式を活用。

（ケースレビュー：point）

相談員が困り感・気になる事例をグループ内で簡単な意見交換を実施。事業所や一人相談員での抱え込みを防止し、支援方針や対応方針の統一を図る。

相談支援初任者でも自由に発言できるようツールとして統一書式を活用。

令和6年度活動報告（土台となる取り組み）

② 人材育成・質の向上のためのグループスーパービジョン（7回/年）

現任者研修の事例検討スタイルを踏襲。グループワークから抽出された事案に対し支持的環境の中で、複数の視点により業務を振り返り専門員の困り感の軽減や相談支援の質の向上に繋げた。



＊年度初めに相談支援機能強化事業所（主任相談支援専門員）から導入講義として、**相談支援の基本的視点**・事例検討とGSVの違いを説明

＊GSVの素材となる事例提供者は自立支援協議会への参画をより意識してもらえるよう輪番制を継続

③事業所支援活動（相談支援機能強化事業所との連動）（12回/年）

アウトリーチによる相談支援事業所への支援を相談支援機能強化事業所(主任相談支援専門員)が実施。南西エリア内の相談支援事業所を4つの小グループに区分けし、相談支援機能強化事業所が各事業所へ出向き現場の中でケースレビューとスーパービジョンを展開。また相談支援事業所の運営に関する助言、相談員を増員できるよう事業所支援を行った。

④ミ二研修会の実施

現場の声や事業所レビューから出た疑問に対し、知識と連携のための専門知識を深め
相談員のスキルアップを図る。

開催日：令和6年11月18日

場 所：岡山市立公民館 灘崎公民館

参加者： 25名

内 容：テーマ：相談員が知っておきたい成年後見制度

- ・制度の歴史と後見人等の役割
- ・意思決定支援について
- ・後見人等との連携について

講 師：岡山パブリック法律事務所 岡山南支所 原田 誠 様・山本 雄三 様

成年後見制度の成り立ち、について文化や制度を理解し、今後の他機関連携の土
台となる知識を高める機会になった。



⑤部会報告、情報共有・・・12回

各専門部会の活動報告及び新規事業所紹介等を毎月1回（第4金曜日）に固定化し情報共有、
また地域部会と各専門部会双方の発信で地域課題の明確化。

令和6年度活動内容（柱となる取り組み）

① サビ管との連携強化（サビ管・相談支援専門員合同意見交換会：年2回開催）

開催：令和5年12月21日（第1回）

場所：ウエルポートなださき かしの木ホール

内容：自立支援協議会の活動報告

グループワーク：各事業所情報共有

「事業所が大切にしている取り組み」

参加：65名（内訳：相談29名・サビ管理等36名）

開催：令和6年3月11日（第2回）

場所：ウエルポートなださき かしの木ホール

内容：グループワーク：「相談支援専門員の視点を知ろう」

「サービス管理責任者の視点を知ろう」

サービス等利用計画と個別支援計画の連動

参加：59名（内訳：相談26名・サビ管理等33名）



令和6年度活動内容（柱となる取り組み）

② 地域移行支援事業への取り組み・・・南西WG（10回/年：開催）

4/25、5/23、6/27、8/22、9/26、10/24、11/28、12/26、2/27、3/25

南西地域に即した地域移行支援に関するシステム構築のために、基幹相談支援センター、相談支援事業所で定例会を開催。令和6年度が8年目になり医療機関との共同作業が途絶えた一方で、障害者入所施設及び救護施設がスポット参画があった。また各地域での課題や今後の取り組みに必要な意見交換のため各地域部会WG合同会議（4回/年：5/28、8/20、11/13、2/12）を実施。

③ 地域生活支援拠点の有効的な活用（南西地域生活支援拠点運営連絡会）

緊急対応、体験利用、地域づくり、人材育成など総合的視点から複合課題の取り組み方を模索。面的整備を充実させ、誰もが困らない地域づくりを目指す。

④ 日中サービス支援型グループホームの評価（2回/年）

グループホームが地域に開かれたサービスとして根付き、質の確保を図る観点から、双方向の対話によって地域が望んでいる資源となるためのニーズや要望を届け適切な支援の向上に寄与できるよう努めた。

実施日：令和6年6月28日：グループホームCoccole、みんな地域生活ホーム

令和6年12月20日：おうちだ、ソーシャルインクルーホーム岡山今保

（＊倉敷市の相談支援も評価に参画赤磐市、玉野市から視察あり）